

危機事案・暮らしの安心対策特別委員会記録

1 会議の日時	<p>令和7年12月17日</p> <p>開 会 午前 9 時 5 7 分</p> <p>閉 会 午前 1 1 時 4 4 分</p>	
2 会議の場所	第4委員会室	
3 出席者	委 員	<p>委員長 猫田 孝                      副委員長 野島 征夫</p> <p>委 員 伊藤 正博                      佐藤 武彦                      平岩 正光</p> <p>川上 哲也                      加藤 大博                      山内 房壽</p> <p>森 治久                      平野 恭子</p>
	オブザーバー	(なし)
	傍聴議員	(なし)
	執行部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	<p>主査 古田 健児                      主事 河村 知紗</p>	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
<p>1 犯罪・交通事故防止に関する調査について</p> <p>(1) 朝日大学法学部生による自主防犯ボランティア団体『めぐる』の活動を中心として</p> <p>参考人 朝日大学 法学部・大学院法学研究科教授 法学部長 大野 正博 氏</p> <p>(2) 「ながらスマホ運転は危険運転」あれから9年 ～今も敬太と共に～</p> <p>参考人 則竹 崇智 氏</p> <p>2 その他</p>		

## 6 議事録(要点筆記)

### ○猫田孝委員長

ただいまから、危機事案・暮らしの安心対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、犯罪・交通事故防止を議題とし、協議いただくため開催したものである。

まず初めに、「朝日大学法学部生による自主防犯ボランティア団体『めぐる』の活動を中心として」について、朝日大学 法学部・大学院法学研究科教授 法学部長 大野正博様に出席いただいている。

大野様におかれては、大変御多用のところ、お越しいただき、誠に感謝する。

ぜひ、活発な意見交換ができればと思うので、よろしく願いしたい。

なお、質疑については、報告終了後をお願いする。

それでは、大野様に報告をお願いする。

(報告 参考人 朝日大学 法学部・大学院法学研究科教授 法学部長 大野正博 氏)

### ○猫田孝委員長

ただいまの報告に対し質問はあるか。

### ○加藤大博委員

旧穂積町の盗犯マップを作成する際に件数を調査したところ、警察の認知件数と差があったとのことだが、どのような理由か。また、調査を踏まえてどのような活動をされたか。

### ○大野参考人

当時、警察に盗犯の被害を届け出ることを恥ずかしいと思っている家庭や被害に遭ったことに気が付いていない家庭が多く、警察に届け出していないケースがあったため、件数に差が出ていた。その後、作成したマップとともに防犯対策について地域住民に周知した。

### ○川上哲也委員

薬物乱用防止の話があったが、どういったことを小・中学生に訴えていけば薬物乱用を防止する効果があるか。

### ○大野参考人

なぜ薬物乱用をするのか、どうすればやらずに済むのか、ということをしつかりと教えることが一番重要だと考える。乱用、中毒症状、依存症の違いと危険性を子どもたちにしっかりと伝えなければならない。

### ○山内房壽委員

薬物乱用は再犯率が高いが、再犯防止のために重要なことは。

### ○大野参考人

依存症は現代の医学では治らないが回復は可能。専門の指定病院（岐阜県では各務原病院等）で断薬や認知行動療法を受けるのが有益であり、ダルクといった自助グループなどで仲間と集まることで、安心して話ができる空間も重要になってくる。

### ○森治久委員

瑞穂市は犯罪の発生件数が多いと言われているが、どのような要因があるかと考えるか。

### ○大野参考人

防犯には社会のつながりが非常に重要だと考えるが、瑞穂市は新しいファミリー層が増えてきており、地域の関係が希薄であることが、件数が多いと言われる要因の一つと考える。また、全国で犯罪が減っている要因は人口が減っているからであり、人口が増えれば犯罪者の割合も増えると言えるため、人口が増えている瑞穂市で犯罪が発生しやすくなっていることも事実である。

○加藤大博委員

住宅等の周囲に植栽をすることで犯罪が起きにくい状況を作ると説明があったが、一方で、花を踏み荒らす人やゴミを捨てていく人に対してはどう対応するのか。

○大野参考人

ゴミを拾ったり、花は植え直すなどして被害を拡大させない環境を維持している。また、花を踏み荒らしたりゴミを捨てたりする人を見かけた際には、その都度必要な注意をするが、活動する学部生に行わせるとなるとトラブルになる可能性もあるので、瑞穂市や北方警察署に連絡するようにしている。

○加藤大博委員

現場での活動が座学にどのようにフィードバックされているのか。

○大野参考人

現場では、座学で学んだ内容の通りに動いていないことを実感し、理論と現場の違いの検証を繰り返すことで、自ら答えを出す力を養っている。

○猫田孝委員長

質問も尽きたようなので、しばらく休憩する。

午前11時00分 休憩

午前11時05分 再開

○猫田孝委員長

それでは、休憩前に引き続き、委員会を再開する。

次に、「『ながらスマホ運転は危険運転』あれから9年 ～今も敬太と共に～」について、参考人として、則竹崇智様にお越しいただいた。

則竹様におかれては、大変御多用のところ、お越しいただき、誠に感謝する。

それでは、則竹様に報告をお願いします。

(報告 参考人 則竹崇智 氏)

○猫田孝委員長

ただいまの報告に対し質問はあるか。

(「発言なし」)

○猫田孝委員長

質問もないようなので、この議題は終了する。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はあるか。

(「意見なし」)

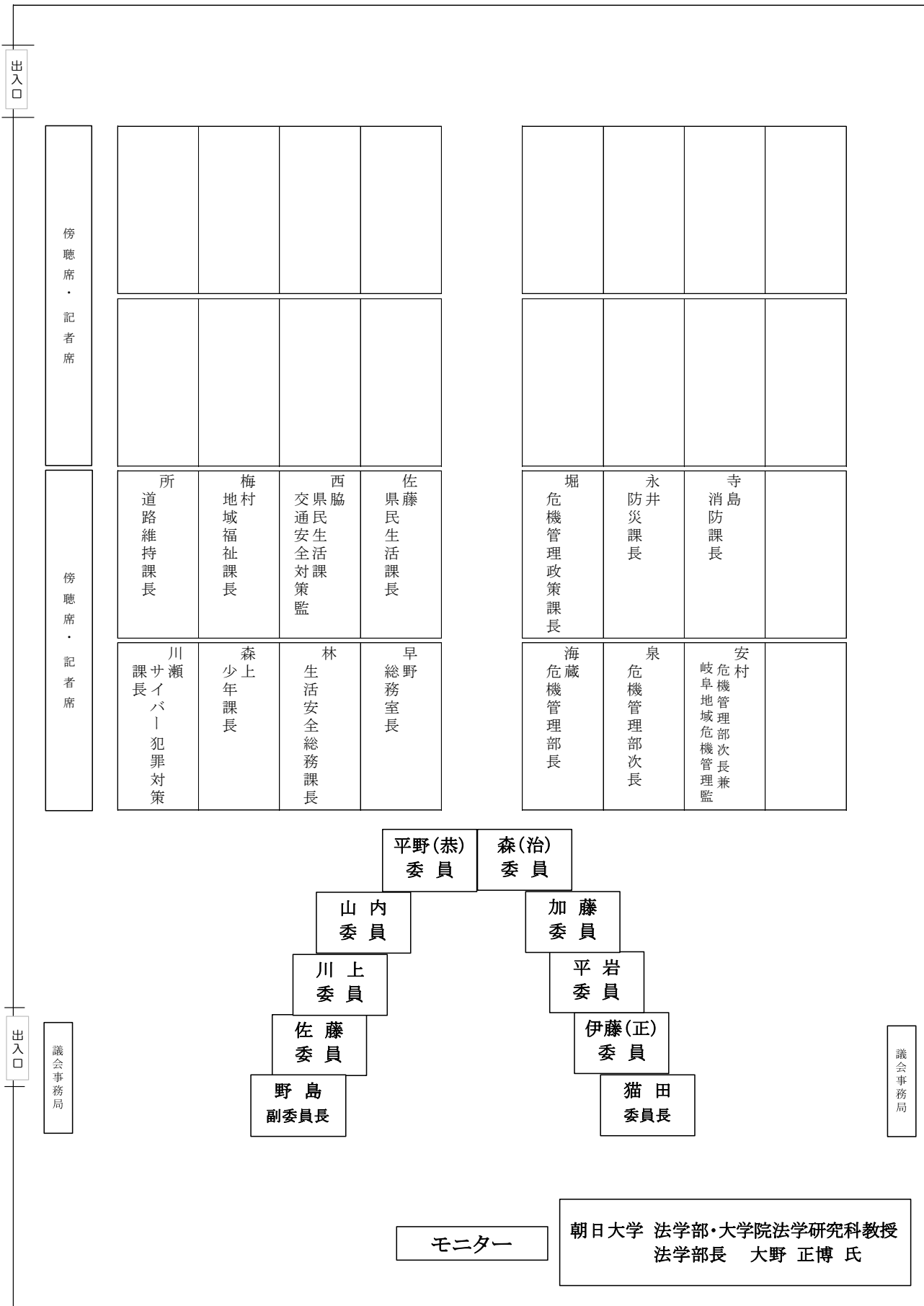
○猫田孝委員長

意見がないようなので、本日の委員会を閉会する。

危機事案・暮らしの安心対策特別委員会 配席図

令和7年12月17日

第4委員会室



危機事案・暮らしの安心対策特別委員会 配席図

令和7年12月17日

第4委員会室

